

令和7年9月25日 教育委員会会議録

- 1 日 時 令和7年9月25日（木） 午後3時～午後3時20分
- 2 場 所 10階 委員会開催室
- 3 出席委員 金沢智也教育長、田中克委員、向田敏委員、細谷真紀子委員、伊藤洋子委員
- 4 出席者 板垣裕子教育部長、西村尚人教育企画課長（兼）企業・卒業生連携室長、
長橋真教育総務課長、横山尚久学校教育課長、
東海林一善総合学習センター所長、阿部宏社会教育青少年課長、
和田裕樹少年自然の家所長、齋藤久美図書館長、
古内和彦学校給食センター所長（兼）栄養管理室長、
志済直史商業高等学校事務長、事務局（教育企画課及び教育総務課職員）

会議次第

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 報 告 事 項
地域活性化起業人制度の活用状況について
- 4 そ の 他
- 5 日 程 等
 - (1) 教育委員会の日程について
 - (2) 教育委員会主催（共催）の行事予定について
- 6 閉 会

会議録

1 開 会 教育長

2 会議録署名委員の指名

教育長…本日の会議録の署名委員だが、細谷委員にお願いしたい。

<各委員より了承の声>

3 報 告 事 項

教育長…本日の会議だが、議案がないため報告事項となる。報告事項「地域活性化起業人制度の活用状況について」説明をお願いする。

<総合学習センター所長より説明>

教育長…ただ今の説明について、意見や質問等はあるか。

細谷委員…二点お聞きしたい。一点目、地域活性化起業人制度のマッチングはどのような仕組みで行われているのか。二点目、資料に記載されている活用状況について、理科授業への支援業務とあるが、具体的にどの単元で何年生を担当するのか。

総合学習センター所長…一点目については、山形市の理科教育の更なる推進と、株式会社ダイセルの地域活性化への人材活用のニーズが一致したことによりこの事業が行われることとなった。二点目の単元や何年生を担当するか等はまだ決まっていない。

細谷委員…株式会社ダイセルから、取組についての提案があったのか。

学校教育課長…昨年度の経緯を補足させていただく。株式会社ダイセルは化学の老舗メーカーである。地域活性化起業人制度を活用して、西日本の島の学校に入りながら教育委員会と連携し、島全体の活性化を後押しした経験がある。化学メーカーとしての知識を生かし環境問題にも取り組んでおり、山形市にも提案を頂き、理数教育に力を入れていきたいという市のニーズとマッチングもしており、話し合いを重ねながらこの形となった。

細谷委員…市の職員ではなく、株式会社ダイセルに在籍となるのか。

総合学習センター所長…株式会社ダイセルからの派遣となる。

田中委員…個人情報になるかもしれないが、この職員の年齢をお聞きしたい。また、今まで学校教育に関わったことがあるのか、雇用形態や研修の評判等も、可能な範囲でお聞

きしたい。

総合学習センター所長…年齢は60歳を超えている。化学分野に長く従事されており、教育分野に携わるのは初めての経験である。評判等については、理科主任研修会のアンケートの中において、理科の授業に生かせる内容であったと聞いている。

教育長…一回程度の研修会なので、学校教員ともお互いまだ手探りの状態で、評判等についてもわからないということか。

総合学習センター所長…そのとおりである。今後学校への訪問等を増やしていきながら、活用の実態を模索していきたい。

田中委員…総合学習センターに常勤での勤務となるのか。

総合学習センター所長…総合学習センターにおいて、市職員と同様に8時30分から17時15分までの常勤勤務となる。

伊藤委員…この職員が加わることによって新しく変わろうとしている点や、目標等はあるのか。

総合学習センター所長…株式会社ダイセルは企業でプラスチックにおける環境問題に取り組んでおり、学校教育の現場でも環境教育等は大事であると考えている。今後どのような單元の中で活用できるか模索していきたい。

伊藤委員…この職員は株式会社ダイセルの元職員なのか、出向となっているのか。

総合学習センター所長…株式会社ダイセルの子会社で勤務しており、そこからの派遣である。

教育長…他に意見や質問はあるか。

<各委員より「なし」の声>

4 そ の 他

教育長…その他委員より報告等はないか。

<各委員より「なし」の声>

教育長…事務局よりその他報告等はないか。

<事務局より「なし」の声>

5 日 程 等

<教育総務課長より教育長及び教育委員の日程及び教育委員会主催（共催）の行事等について説明>

6 閉 会 教育長